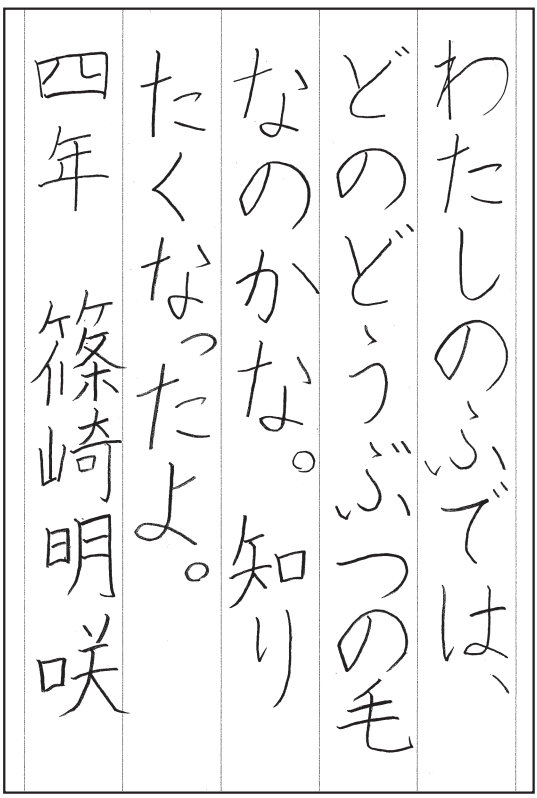
はがきでペン優秀作品

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

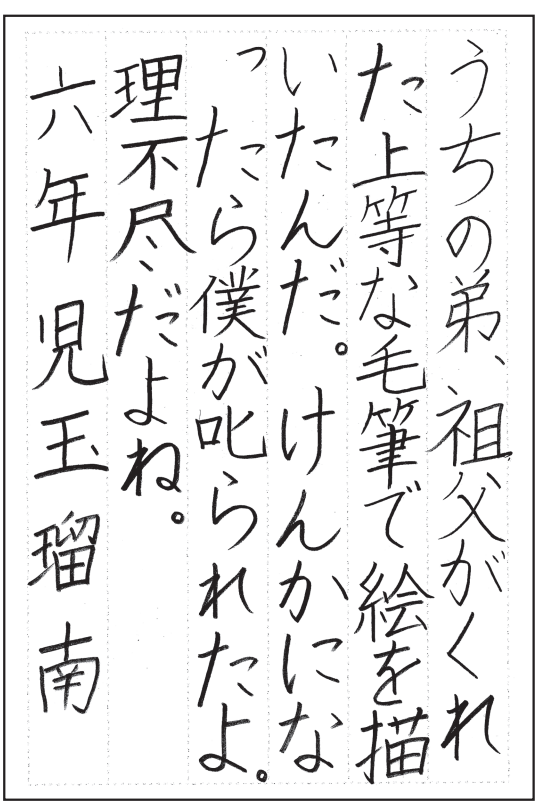
審査担当　金子榮風先生

最優秀作品２点



小４　篠崎明咲

字の美しい形をわかって書き、リズムが良い。



小６　児玉瑠南

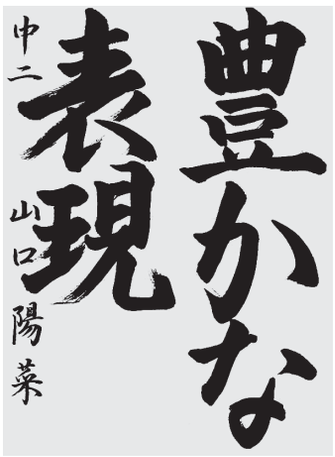
構えが良く、素直で思い切りの良い線が魅力。

ふとくたくましい二ほんのたてのせんがいいね。「に」のさいごや「わ」のおおきくまわるところのふでづかいができている。

幾田航士郎　幼年　6級

線の長さ、太さ、位置、角度などを正しく書くことで、むずかしい一文字作品のバランスを上手く整えた。太い線が光る。

中澤悠莉　小4　1級



美しい字形を意識して丁寧に書き進めながらも、画と文字の繋がりを見せて流れに乗り最後まで書き切るのが素晴らしい。

山口陽菜　中2　4段

せんのはじまりをしっかりととめてかき、いきおいよくすすむところはスピードがちょうどよいのでリズムよくかけている。

青野めい　小1　1級

むずかしい課題、特に「風」の美しい作品を選んだ。「秋・め」にもある左ハライはうでを大きく動かし線の終わりがきれい。

鶴田怜良　小5　準3

紙面を所狭しと縦横無尽に筆が動き魅力的。筆の上下動や線の太細の使い分けがあるので字内に余白も生まれ美を感じる。

林　香凛　中3　準5

すべての線のはじまりからおわりまで気もちが入っていてすばらしい。つぎの画へとつながるハネや回るところが上手い。

富田竣太　小2　準初

まず二文字共に最終画の素晴らしさに感心。名前もふくめて全ての線に高い集中力を持ち続け、正しい筆づかいで書けた。

萩原弥央　小6　5段

それぞれの線の太さや長さを考えて書いているので字形が安定した。とくに「月」は細すぎず太すぎず、美しい形となった。

奥　陽佑　小3　準2

画数の少ない上二文字に特に太い線を用いて全体のバランスを整え、「鳥・湖」も線の太細を工夫してぶつからずに書けた。

佐藤瑠南　中1　準3

十月十五日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評